

## 2020 年度事業報告

法人の内部固めと今後の在り方を検討することを柱として取り組みを進める1年と位置付けた年でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡がりに振り回されることになってしまいました。外出の自粛や三密の回避といった感染拡大防止のための取り組みは、本会の掲げてきた「生きる事を支える」事業・活動の大きな支障となりました。夏おくりまつりや映画会の中止・地域でのほとんどの文化・スポーツ行事の中止は仲間たちと地域の人たちとの大切な交流場を奪ってしまいました。また、移動支援や短期入所といった仲間たちを家の中の生活から解放する支援も大きく縮小せざるを得ない状況となりました。このような状況の中で、仲間たちに豊かな余暇活動を企画提供してきた本会の兄弟団体でもある NPO 法人はなみずきも本年度で活動の終了を余儀なくされています。

また日中活動においても三密回避のため、一時的ではありましたが利用者の通所を半数ずつ隔日にするといった対応も取らざるを得ませんでした。利用者の皆さんにもご家族の皆さんにも大変な負担をお願いすることとなり、本当に心の痛む1年でした。

このような不本意でも致し方ない対応や職員による不断の館内消毒をはじめとする防疫措置の甲斐もあってか、現在までコロナ感染が法人内で発生していない事にホッとしています。

一方で、感染者が発生した場合の業務継続をどう計ればいいのかといった危機管理への対策について、組織として真剣に考え、マニュアル作りに取り組むといったこのような事態でなくてはできなかった成果も生まれてきました。またサーマルカメラや空気清浄機の導入など環境面でもこれからの防疫にも有力な機器を整備する事ができたことや、オンラインによる会議や可能な部署でのテレワークに実施など業務の効率化に向けて役立つ仕組みも導入できたことは成果と捉えたいと思います。

### 1、安定した運営と安心して利用できる法人の力・体制を作り上げるための取り組み

前段総括部分でも触れたとおり、コロナ感染症の拡大防止が大きな壁となり、法人経営の安定や法人の力をつけるための取り組みには大きな力を割くことができませんでした。そんな中でも、職員の力をつける取り組みとして、資格の取得や研修活動には積極的に取り組みました。相談支援専門員・サービス管理責任者といった業務上の資格取得研修で6名が資格取得しましたし 国家資格である社会福祉士・介護福祉士実務者といった資格取得者も生み出すことができました。またオンライン方式で様々な研修を実施し、一定の力量の向上を図る事がで

きました。

## **(2) 利用者・職員の安全を確保するための取り組み**

防疫のための取り組みが、利用者・職員の安全確保につながる結果もある程度見えてきています。先にも触れた、空気清浄機の設置やサーマルカメラの設置などは環境面での安全対策として力を発揮しそうですし、日常的となった利用者職員以外の入館チェックはこれからも継続していくことができそうです。大きな災害が発生した場合の一時的避難先として本会建物を利用する事についても、多くの利用者家族から声が挙げられています。地域との防災協定を結ぶなどして、必要備品の確保や食料品の確保などの手立てが取れる様なら、是非実現していきたいところです。

## **2、法人あさみなみのこれからの目標を見出す年とします。**

第2次将来構想5か年計画の策定を目指すこととしていましたが、コロナ禍により委員会の開催が困難となり、職員の役割分担でワーキンググループを組織し、まずは素案の作成作業に取り組みました。法人経営・事業構想・人材確保、育成・利用者の生活・地域交流、連携の5本の柱建てにより、それぞれ向こう5年間で法人の目指すべき方向と取り組むべき活動について協議を重ねてきています。近日中に素案としてまとめ、将来構想委員会の開催にこぎつけられそうです。

## **3、利用者からの要望や意見・苦情に対応していくために人権擁護委員会を創設し、利用者の人権擁護に努めます。また必要な利用者への後見制度の活用を進めます。**

人権擁護委員会の創設もコロナ禍の中見送りとなりました。国の制度見直しが進められる中、虐待防止委員会の設置義務化の方針も出てきている事から、早期に委員会設置を目指していくことが求められます。

後見制度の利用については数件のアプローチを開始していますが、いまだ具体的な形には至っていません。

## **4. 国の情勢をとらえながら社会福祉・社会保障、障害者施策の発展を目指し取り組み、地域や関係団体と連携をとりながら活動していきます。**

コロナ禍による様々な障害者団体や運動団体も活動の制限を受けた事から、残念ながら十分な取り組みを持つことができませんでした。とりわけきょうされんは県単位での組織として会議の開催や研修・集会への取り組みが殆ど制限を受け、コロナ感染症の拡大防止やその発生時の対応についての県への要請に取り組むことが精いっぱい状況となりました。

## 1. 各種会議

### (1) 評議員会 2回開催

#### 第1回定時評議員会

月日	決議事項
6月29日 評議員 11 理事 6 監事 2	平成31(令和1)年度事業報告の承認
	平成31(令和1)年度計算書類・財産目録の承認

#### 第2回

月日	決議事項
3月31日 評議員 11 理事 2 監事 1	令和2年度一般会計予算の一部補正の承認
	令和3年度事業計画・一般会計予算の承認

### (2) 理事会 6回開催

#### 第1回

月日	決議事項
4月21日  理事 8名 監事 1名	一部評議員選任替候補者の評議員選任解任委員会への推薦
	職員退職に伴う評議員選任解任委員の選任

#### 第2回

月日	決議事項
6月15日  理事 8名 監事 2名	平成31(令和1)年度予算の最終補正について
	平成31(令和1)年度事業報告・貸借対照表等決算諸表の承認
	定時評議員会の招集・審議事項の決定

#### 第3回

月日	決議事項
10月15日  理事 8名 監事 1名	将来構想委員会の設置と委員の選任
	作業所運営規定の変更とあさ作業所定員の変更

第4回

3月16日	決議事項
理事8名 監事1名	令和2年度予算の第1次補正について
	令和3年度事業計画並びに予算の策定について
	次期評議員ならびに理事・監事の推薦について

- (3) 監事会 6月6～11日
- (4) 施設長事業所長会議の定例開催（毎週火曜日）
- (5) 全体職員会議の開催（毎月第3水曜日 15時15分～17時15分）
- (6) 各種部会の定期的開催  
 仕事部会 資金後援会部会 広報部会 仲間部会 研修部会といった分野別部会を職員全体で役割分担して構成し、それぞれの課題ごとに調査・研究に基づいた企画を立案してきました。各部からの総括も後半で記載します。
- (7) 第2次将来構想計画策定ワーキンググループ会議の開催  
 ＊事業構想WG ＊法人経営WG ＊人材確保と育成WG ＊利用者の豊かな生活WG ＊地域交流・連携WG
- (8) 健康づくり ＊集団健康診断 10/7  
 ＊インフルエンザ予防接種 10/22
- (9) 権利擁護のための取り組み  
 Iさんの身上監護部分での後見活動・財産管理等を担う後见人弁護士との調整  
 利用者の生活支援について暮らしサポートセンターや弁護士との調整
- (9) 後援会活動の支援と運動への協力  
 後段の後援会事務局部会の報告で総括します。
- (10) 利用者自治会の早期結成に向けて支援  
 後段の仲間部会報告で総括します。
- (11) 広報活動の展開 法人広報紙「あさみなみんな」を季刊として発行しました。具体的総括については、後段 広報部会報告で行います
- (12) コロナ感染症への対策

感染を防ぐための環境整備

アクリルパネルの設置 食堂の対面を防ぐ仕様変更

空気清浄機・サーマルカメラの導入 全体職員会議のオンライン化

発熱・体調不良時の登所禁止

感染者発生時を想定しての対応訓練 各所で実施

業務継続計画の策定

段階ごとの対応マニュアルの策定

感染対応研修の受講 (オンデマンド)

## 2. 研修活動

流動する情勢に迅速に対応するため、また、障害についての理解や発達を支援する理論・技術を学ぶため、研修活動を実施しました。

[職員研修]

### (1) 資格取得研修

8月7.8日	相談支援従事者初任者研修講義	6名
9月3.4日	相談支援従事者初任者研修(5日)	3名
10月12日	同	
11月12.13日	同	
11月27日	サービス管理責任者研修	3名
12月17.18.23.24日	同	
2月13.14 21.23日	強度行動障害支援者研修	1名
5月～8月	介護福祉士実務者研修	1名

### (2) 派遣研修

8月7日	防災安全研修	2名
9月17日	働き方改革の動向	1名
ウェブセミナー参加		
12月21日	報酬改定を巡る状況	1名
1月14.21.28日	法人経営セミナー	3名

### (3) 全体職員研修

月日	内容	チューター等
10.3	意思決定の支援 地域の力との連携	元山 淳氏 松浦真英氏
3.13	意思決定の支援 事例検討	スーパーバイズ 元山淳氏

オンデマンド研修(全体職員会議の一環として実施)

月日	内容	
7/15	褒め方 トレーニング	45分
12/16	感染症対応時のメンタルケア	60分
2/17	虐待防止セミナー	60分

(4)新任職員研修

下記内容を新規採用職員に対して4月9日~30日の日程で実施しました。

4月9日	就業の心構え・就業規則・給与/あさみなみの理念 オンデマンド 社会人のルール
4月13日	障害者運動の意味と歴史 オンデマンド 報・連・相
4月14日	あさみなみの成り立ちとめざすもの オンデマンド コミュニケーションの取り方
4月23日	社会保障の仕組み 1
4月23日	障害者福祉の仕組み 1
4月27日	障害者福祉の仕組み 2
4月23日	障害の理解
4月30日	社会福祉法人の会計・事務

(5)職場研修 職場内でミーティング等の機会を通して日常的な研修実施

(6)研修への職員派遣 関係団体等の要請に応じて講師・スタッフを派遣

### 3. 事業活動

あさ作業所	生活介護事業 定員 25 名 (実利用者 24 名)
	就労継続 B 事業定員 15 名 (実利用 12 名)
工房とも	就労継続支援 B 事業 定員 20 名 (実利用者 16 名)
アンダンテ	就労継続支援 B 事業 定員 20 名 (登録者 31 名)
かるかる	生活介護事業 定員 20 名 (実利用者 33 名)



(3) オープンあさみなみ (通所事業所体験会)  
中止

(4) 地域団体やボランティアグループ等の視察研修の受け入れ

県議事務所インターン学生 9/14 4名

西川物産社員見学受け 11/12 3名

市立特支保護者見学 12/3 6名

(5) 大学・専門学校からの実習受け入れ

文化学園短期大学保育科実習 8月8名 3月9名

文化学園大学幼児教育学科実習 10月 1名

(6) 地域交流スペースの利用

祇園学区民生委員・児童委員協議会

HanoHano(祇園小学校木曜日放課後活動) コロナにより休止中